

平成 27 年度 第 2 回 大阪市立新東淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立新東淀中学校

校園長名 西 川 孝 治

日 時	平成 27 年 11 月 27 日(金) 19 : 03～21 : 02 (1 時間 59 分)	
場 所	大阪市立新東淀中学校 南館 3 階 多目的室	
出席者	委員 など	高野実 (会長)・倉田秀太郎 (委員)・塩見優 (委員)・筒井満 (委員)・河野孝宏 (委員)・井出光太郎 (委員)・神崎美枝子 (委員)
	校園	西川孝治 (校長)・辰己欣広 (副校長)・坂井伸治 (教頭)・竹山裕樹 (教務主任)・高城理裕 (首席・生徒指導主事)
	区役所	山田厚生 (出張所長)・西村謙一 (課長)・池田伸一 (課長代理)・河西浩 (係長)
議題	(1)平成 27 年度 全国学力・学習状況調査の結果について (2)平成 27 年度 運営に関する計画 (中間評価) (3)学校の現状 (3)意見交換 (4)その他 等	
協議 要旨	協議の結果 意見の概要	
	(1)	○全国学力・学習状況調査の結果について、公表資料をもとに結果の概要、分析から見てきた成果・課題、今後の取組についての報告を行い、今後の H P 掲載に向けての理解を得ることができた。 ○国語科での「書くこと」を苦手としている生徒が多いことがわかった。 ○数学科での基本的な計算する技能が定着していないことがわかった。 ○理科での観察・実験の技能の力を伸ばすことが重要であることがわかった。
	(2)	○取組内容についての進捗状況についての報告を行い、年度末に向けての改善点を明らかにすることで理解を図ることができ、了承を得た。 ○学校生活に関するアンケートの改善を検討していただきたい。 ○小中連携を深めるための専門家チームを組んでの取組が必要とされている。
	(3)	○いじめの件数は増加してはいるが、教員と生徒とのコミュニケーションが いじめの解決に向けては、学校に負う部分 密になってきており、相談の受入れ体制が多く、今後も継続した指導を進めていた が整ってきている報告がなされた。 だきたい。
協議 資料	平成 27 年度 全国学力・学習状況調査の結果 平成 27 年度 運営に関する計画 (中間評価)	
備考	傍聴者[ 0 ]名	